

2016年7月4日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町YSビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

ヘルス食品、ウェルネス食品の市場を調査

プリン体オフ・ゼロ食品市場は2016年に2,410億円(見込)

2012年から5年間で倍増、アルコール飲料が拡大をけん引

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、健康意識が高まる中、需要が拡大しているヘルス食品とウェルネス食品の国内市場を調査した。その結果を報告書「ヘルス&ウェルネス食品市場の将来展望 2016」にまとめた。

この報告書では、効能表示が可能な保健機能食品(特定保健用食品、機能性表示食品、栄養機能食品)をヘルス食品、特定の成分・素材をオフ・ゼロとした食品や栄養成分・素材を強化した食品など、ライトな健康感を訴求した食品をウェルネス食品と定義し、20カテゴリ48品目の加工食品における市場(健康食品・サプリメントを含まない)を調査・分析した。また、食品分野で注目のコンセプトに関わる食品、成分・素材の10市場(健康食品・サプリメントを含む)についても調査・分析した。

<注目ウェルネス食品市場(健康食品・サプリメントを含まない)>

ウェルネス要素	2015年	前年比	2016年見込	前年比
食物繊維	901億円	106.3%	1,022億円	113.4%
プリン体オフ・ゼロ	2,153億円	126.4%	2,410億円	111.9%
ミネラル	1,751億円	114.7%	1,928億円	110.1%
糖質オフ・ゼロ	3,185億円	111.1%	3,431億円	107.7%

食物繊維はシリアルフーズ、野菜系飲料、スナック菓子、ビスケット・クッキー類などが中心となっている。拡大はシリアルフーズがけん引しており、2016年も好調が続くとみられる。プリン体オフ・ゼロはアルコール飲料が拡大をけん引しており、2016年には前年比11.9%増の2,410億円が見込まれる。2012年から5年間でおよそ倍増となる。発泡酒や新ジャンルビール風味アルコール飲料で新商品投入が進み、糖質オフ・ゼロやカロリーオフ・ゼロとともに健康系のビール類では欠かせないウェルネス要素となっている。ミネラルは嗜好飲料、シリアルフーズ、乳性飲料などが中心となっている。拡大は嗜好飲料の麦茶とシリアルフーズの伸びに支えられており、麦茶は夏場の塩分摂取を、シリアルフーズはビタミンや食物繊維とともに朝食時の栄養強化を訴求して伸びている。糖質オフ・ゼロは、アルコール飲料が中心となっている。糖質抑制ダイエットや高血糖予防のニーズを背景に、パンや麺類でも数多くの新商品が投入され拡大している。

一方、脂肪分オフ・ゼロ、カロリーオフ・ゼロ、熱中症対策は縮小または苦戦している。ヨーグルトでは4Pタイプで脂肪分オフ・ゼロでない商品設計へのリニューアルが相次いでおり、脂肪分オフ・ゼロは好まれていないとみられる。カロリーオフ・ゼロや熱中症対策は、その他飲料カテゴリーに含まれるスポーツドリンクの主要ブランドが縮小または苦戦していることが影響している。

<調査結果の概要>

ヘルス食品、ウェルネス食品市場(健康食品・サプリメントを含まない)

区分	2015年	前年比	2016年見込	前年比
ヘルス食品	4,178億円	105.1%	4,591億円	109.9%
ウェルネス食品	2兆3,546億円	103.9%	2兆4,173億円	102.7%
合計	2兆7,724億円	104.1%	2兆8,764億円	103.8%

ヘルス食品、ウェルネス食品の国内市場は合算で2015年に前年比4.1%増の2兆7,724億円となった。

調査対象とした20カテゴリー48品目の加工食品総市場の21.0%を占める。ヘルス食品は特定保健用食品のドリンク類が拡大をけん引し、市場は4,178億円となった。ウェルネス食品は効能を明確に表示することはできないもののライトな健康感の訴求により伸びており、2015年の市場はプリン体オフ・ゼロ、ミネラル、乳酸菌類、糖質オフ・ゼロなどがけん引し、拡大した。

2016年は2015年6月より発売された機能性表示食品が、品目によっては特定保健用食品に代わってヘルス食品の市場拡大をけん引している。ウェルネス食品も伸びており、ヘルス食品とあわせ、市場は前年比3.8%増の2兆8,764億円と見込まれる。

注目カテゴリーのヘルス食品とウェルネス食品(合算)市場(健康食品・サプリメントを含まない)

カテゴリー	2015年	前年比	2016年見込	前年比
アルコール飲料	4,342億円	112.2%	4,765億円	109.7%
調味料	1,236億円	106.1%	1,303億円	105.4%

アルコール飲料は糖質、糖類、プリン体オフ・ゼロのビール類や低アルコール飲料(チューハイ、カクテル、ハイボールなど)が急速に伸びている。アルコール飲料の総市場が縮小する中でヘルス食品、ウェルネス食品の比率は年々拡大している。2015年はノンアルコールビール・ドリンクで初となる特定保健用食品、機能性表示食品が発売され、また、2016年はビール規格で初のウェルネス食品(糖質50%オフ)となるアサヒビールの「ザ・ドリーム」が登場するなど、ヘルス食品、ウェルネス食品の位置付けはさらに高まっている。

調味料は化学調味料や保存料などを添加していない無添加商品がナチュラル志向の高まりで伸びている。また、減塩はしょうゆ、味噌、トマトケチャップ、つゆの素など幅広い品目で展開され、減塩需要に支えられ続伸している。カロリーオフ・ゼロも需要が高く、ヘルス食品、ウェルネス食品の構成比は年々拡大している。

<注目コンセプト市場(健康食品・サプリメントを含む)>

コンセプト	2015年	前年比	2016年見込	前年比
スーパーフード	279億円	117.2%	292億円	104.7%

ここではチアシード、キヌア、マカ、アサイー、スピルリナ、ココナッツ、ザクロ、カムカムなど、素材そのもの(ロースト加工を含む)と、これらを原料とした加工食品を対象としている。スーパーフードが国内で注目されるようになったのは2013年頃のココナッツやアサイーブームがきっかけである。

2015年は、米国のファッションモデルなどの愛用が紹介され認知度が高まり、チアシードがヒットしたことや、TV情報番組でスーパーフードの健康性が数多く取り上げられたことで市場は拡大した。加工食品については、ドリンクをはじめ、様々な食品へ広がりを見せるアサイー関連商品、ココナッツウォーター、チアシード配合の菓子、酵素と複数種のスーパーフードを配合した健康食品(粉末スムージー)の発売が、市場拡大に寄与した。ただし、マカやスピルリナを主成分とする従来の健康食品(粒など)は低迷が続いた。

2016年は市場拡大をけん引してきたチアシードの伸びが落ち着くものの、タイガーナッツなど次々に新しいスーパーフードが注目されており、市場は拡大が続くとみられる。加工食品についても、大塚食品「CHiA」の発売やスーパーフードに酵素などを複合的に配合した健康食品のスムージーが順調であり、伸び幅は縮小するものの、当面はブーム的な市場拡大が続くとみられる。

【調査対象】

	品 目 (20 カテゴリー・48 品目)	領 域
ヘルス食品	1.菓子(ビスケット・クッキー類、チョコレート、キャンディ類、スナック菓子、米菓) 2.スープ類 3.アルコール飲料(清酒、低アルコール飲料、ビール類、ノンアルコールビール・ドリンク、梅酒、国産ワイン) 4.デザート類(チルド・ドライデザート、ヨーグルト類、アイスクリーム類) 5.米飯類 6.麺類(カップめん・袋めん、チルドめん、冷凍めん) 7.その他ステープル(パン、シリアルフーズ) 8.調味料(食用油、味噌、しょうゆ、塩(特殊製法塩)、つゆの素、風味調味料、マヨネーズ類、ドレッシング類、コンソメ・ブイヨン/スープ、ソース、トマトケチャップ)	1. 特定保健用食品 2. 機能性表示食品 3. 栄養機能食品
ウェルネス食品	9.調味食品(カレー) 10.農産加工品(ジャム類) 11.畜産加工品(ハム・ソーセージ類、食肉加工品缶詰・パウチ) 12.水産加工品(魚肉ハム・ソーセージ、水産練製品、水産缶詰) 13.乳油製品(マーガリン類、チーズ類) 14.果実系飲料 15.野菜系飲料 16.炭酸飲料 17.乳性飲料 18.嗜好飲料 19.嗜好品(飲料) 20.その他飲料 健康食品・サプリメントは市場に含めないが、比較対象として掲載	ライトな健康感を訴求した食品 1. オフ・ゼロ食品 (オフ・ゼロ、減塩、カフェインレス) 2. 栄養素強化食品 (ビタミン、ミネラル、カルシウム、食物繊維、野菜、希少糖) 3. その他(熱中症対策、他)

注目コンセプト		
1. スカルプケア	5. 子供向け栄養強化・キッズサプリ	9. 大麦
2. スポーツコンセプト	6. 健康オイル	10. スーパーフード
3. 更年期対策(尿漏れ対策)	7. 酵素	市場は健康食品・サプリメントを含む。
4. 尿酸値・プリン体対策	8. スルフォラファン	

【調査方法】

富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

【調査期間】

2016年4月～6月

以上

資料タイトル	：「ヘルス&ウェルネス食品市場の将来展望 2016」	
体 裁	： A4判 466頁	
価 格	： 書籍版 140,000円+税 PDF/データ版 150,000円+税 書籍版・PDF/データ版セット 170,000円+税 書籍版・ネットワークパッケージ版セット 280,000円+税	
発 行 所	： 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165 URL: https://www.fuji-keizai.co.jp/ e-mail: info@fuji-keizai.co.jp	
調 査 ・ 編 集	： 東京マーケティング本部 第一部 TEL: 03-3664-5821 FAX: 03-3661-9514	
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/		